

はじめに



平成 17 年 3 月 28 日の 3 町合併により、岐阜県で 21 番目の市として誕生してから 12 年が経とうとしています。

平成 18 年 9 月に「海津市総合開発計画」を策定し、「協働が生みだす 魅力あふれるまち 海津」を将来像とし、その実現を目指して、美しく豊かな自然や潤いある環境と調和し、憩いとやすらぎの場を市民に提供できるよう様々な施策を進めてきました。

しかし、わが国は、本格的な人口減少社会の到来を迎え、地域間格差・都市間競争の激化が問題化しています。また、度重なる大規模自然災害の発生と、それによる危機管理意識の変化、情報通信技術の著しい進歩、ライフスタイルの多様化等、暮らしをとりまく状況が大きく変化しています。

本市においても、急速な人口減少・少子高齢化が進むなかで、市の特性を活かした、自律的で持続的な社会の形成を目指す「地方創生」の取り組みが求められています。また、東海環状自動車道の海津スマートインターチェンジの整備も進んでおり、本市に大きな変化をもたらすことを期待しています。そのような潮流を踏まえつつ、本市が目指す望ましい将来と、これを実現するためのまちづくりの基本的な方向を示す「海津市第 2 次総合計画」を策定しました。

本計画では、本市の優れた自然環境の中で、安心して子育てができ、働き、生活ができるまちとなるよう、将来像を「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」とし、産業振興による地域の活性化を図り、全ての人々が手を取り合い取り組む（輪でつながる）まちづくりを目指します。

そこで、将来像を実現するための 5 つの基本目標を掲げました。この目標を達成するため、各施策の推進に全力を挙げて取り組んでまいります。市民、地域、関係団体、行政などが連携協力し、輪でつながる取り組みが重要となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をお寄せいただいた市民の皆さまをはじめ、熱心にご審議くださいました海津市総合計画審議会委員の皆さまに、心から感謝申し上げます。

平成 29 年 3 月

海津市長 松永清彦